

大賞

歳時記にふせんにぎやか瀬祭忌

愛知県 近藤 圭介

海士町長賞

楸邨の句碑の風格萩の声

大阪府 高倉 明子

角川『俳句』編集部賞

楸邨の句碑に陽の斑や小鳥来る

神奈川県 鈴木 経彦

島うた歳時記賞

後鳥羽院配流の島の田植かな

兵庫県 奥井 瑩子

松嶺賞

青嵐親子の牛の睫毛濃し

大阪府 渡辺 美紀代

俳句部門 一般の部

— 石寒太選 特選 — 隱岐牛の四肢たくましく島は秋

東京都 羽住 博之

— 稲畑廣太郎選 特選 — 炎天や洗濯物の息遣ひ

滋賀県 南條 かよ

— 宇多喜代子選 特選 — 院の無念牛の無念や隱岐の秋

大阪府 井上 昌子

— 小澤實選 特選 — 隱岐の院法体着衣水練ぞ

東京都 川又 憲次郎

— 石寒太選 準特選 — 楸邨の句碑に陽の斑や小鳥来る

神奈川県 鈴木 経彦

— 稲畑廣太郎選 準特選 — 潮風とともにふふむや新走

神奈川県 前島 康樹

— 宇多喜代子選 準特選 — 指笛に島の湧き立つ牛角力

千葉県 奥村 利夫

— 小澤實選 準特選 — 振り洗ふ蛸や手首に巻きつきぬ

大阪府 讓尾 三枝子

― 入選 (石寒太 選) ―

歳時記にふせんにぎやか瀬祭忌

愛知県 近藤 圭介

墓守の明しひととき葉月潮

埼玉県 道坂 春雄

青嵐親子の牛の睫毛濃し

大阪府 渡辺 美紀代

楸邨の句碑の風格萩の声

大阪府 高倉 明子

白浪の院御座す島四方拝

岡山県 宮田 敏子

かりがねやおだやかなりし隠岐の海

茨城県 平塚 利雄

院の無念牛の無念や隠岐の秋

大阪府 井上 昌子

にはたづみ一つ一つに島の月

東京都 北島 孝子

炎天下楸邨の句碑に一礼す

滋賀県 赤木 章嗣

あちこちの栓の緩みし春の風邪

岡山県 池田 純子

吾亦紅妣の最後の「あありがと」

大阪府 岡崎 正子

島を出で島に帰らむ冬の月

埼玉県 栗原 日和田

島を蹴り隠岐に奮へる牛角力

京都府 吉尾 薫

塚守の清めの水や黒揚羽

京都府 吉尾 薫

後鳥羽院配流の島の田植かな

兵庫県 奥井 瑩子

蹴鞠場を通りすぎたる恋の猫

兵庫県 奥井 瑩子

一噸の塩の撒かるる草相撲

島根県隠岐郡 永海 尚二

隠岐神社の蹴鞠どころを螢の火

東京都 嶋田 恵一

楸邨の句碑洗ふごと蟬時雨

岡山県 貞住 昌彦

ぶつけ合ふ鬪牛の息人の息

島根県 上川 紗央里

入選 (稲畑廣太郎 選)

歳時記にふせんにぎやか瀬祭忌

愛知県 近藤 圭介

冬波の荒きに慣れて島に住む

東京都 福島 千冬

祭笛かつて帝の御座す島

山口県 ささのは ささら

今年又隠岐に育ちて燕去ぬ

愛媛県 宮部 敏博

かなかなや小学校は島の臍

神奈川県 田中 幸子

鳥渡る遠流の島に都恋ふ

島根県 吉浦 増

あちこちの栓の緩みし春の風邪

岡山県 池田 純子

空間に収まる歪なる榎櫃

岡山県 池田 純子

それぞれの輪郭決まる初鏡

岡山県 池田 純子

秋の蝶神社の奥へ消えゆけり

茨城県 瀬尾 みよ子

産卵を終へて反り身に鮭流る

大阪府 讓尾 三枝子

立ち止まる時秋風のだ真ん中

岡山県 伴 明子

青嵐隠岐の塩ふる一夜干し

千葉県 奥村 利夫

霧の中隠岐ゆく船を点景に

島根県 山根 一枝

つばくらや島に赴任の若き女医

千葉県 中村 智善

番犬の声の悴む夕まぐれ

山口県 永田 芳子

太陽に夏がはじけてゐる離島

愛知県 稲葉 京閑

ポストに手深く投函のどけしや

茨城県 相沢 正志斎

この島の田を守らんと代を掻く

島根県 石川 壽樹

風薫るはたりと動く牛の耳

神奈川県 若村 京子

入選 (宇多喜代子 選)

歳時記にふせんにぎやか瀬祭忌

愛知県 近藤 圭介

楸邨の句碑の風格萩の声

大阪府 高倉 明子

にはたづみ一つ一つに島の月

東京都 北島 孝子

この磯に母の生涯海苔を搔く

島根県 吉浦 増

空間に収まる歪なる榎櫃

岡山県 池田 純子

冬服の厚さ重さとなりけり

岡山県 池田 純子

大青野牛に涙のありにけり

大阪府 讓尾 三枝子

日だまりに牛を磨きてうららけし

大阪府 讓尾 三枝子

番犬の声の悴む夕まぐれ

山口県 永田 芳子

立秋や黒牛ことに堂堂と

神奈川県 竹澤 聡

隠岐牛の四肢たくましく島は秋

東京都 羽住 博之

神域に土俵ありけり隠岐相撲

大阪府 濱田 昭

寒空に四肢をふんばる隠岐の牛

宮城県 遠藤 邦泰

初風や島の向かうに島また島

三重県 宮谷 ふさ子

後鳥羽院配流の島の田植かな

兵庫県 奥井 瑩子

遠くより牛の啼声隠岐は春

東京都 橋本 世紀男

小鳥来る楸邨の碑に陵に

兵庫県 濱口 宏子

島のバス窓いつぱいの青葉かな

東京都 菊香

虫の闇そのただなかを隠岐島

神奈川県 三玉 一郎

島前は涼しや島後より夕立

東京都 村越 敦

入選 (小澤實 選)

歳時記にふせんにぎやか瀬祭忌

愛知県 近藤 圭介

青嵐親子の牛の睫毛濃し

大阪府 渡辺 美紀代

炎天下楸邨の句碑に一札す

滋賀県 赤木 章嗣

雪掘れば次第に青き洞となる

岡山県 池田 純子

音たてて牛のいばりや厩出し

大阪府 讓尾 三枝子

ひきがへる島の御陵に仕る

東京都 松村 直央

隠岐牛の背中を撫でて卒業す

神奈川県 塚本 治彦

負け牛の貌拭いてやる秋夕焼

東京都 橋本 絢

楸邨の句碑に陽の斑や小鳥来る

神奈川県 鈴木 経彦

神域に土俵ありけり隠岐相撲

大阪府 濱田 昭

一島は風の断崖春を待つ

東京都 坂野 たみ

塚守の清めの水や黒揚羽

京都府 吉尾 薫

遠くより牛の啼声隠岐は春

東京都 橋本 世紀男

虫集く後鳥羽上皇行在所

千葉県 大久保 文夫

島のバス窓いつぱいの青葉かな

東京都 菊香

赤蟹が御火葬塚の忌垣攀ぶ

東京都 川又 憲次郎

あつぱつぱあに踊りたるフラ島の夜

福島県 千葉 典子

先祖代々塚守る漢落葉焚

東京都 野澤 雄

スナックのドア全開や島は秋

東京都 寺西 里織

尾を振りて道退かぬ牛神の留守

東京都 寺西 里織

俳句部門 青少年の部

石寒太選 最優秀賞 一 隠岐の島歴史ながれる夏の海

兵庫県 高校 齋藤 琉夏

石寒太選 優秀賞 一 ボランティアヤブ蚊と蟻と鎌と汗

山口県 高校 新田 琥珀

稲畑廣太郎選 最優秀賞 一 山の端に溶け込んでゆく赤とんぼ

島根県 中学 岩崎 惺央

稲畑廣太郎選 優秀賞 一 朝霧に消えゆく山の影淡し

兵庫県 高校 石田 琉偉

宇多喜代子選 最優秀賞 一 飛んで行く子どもと飛ぶよ赤とんぼ

兵庫県 高校 木村 永

宇多喜代子選 優秀賞 一 山の端に溶け込んでゆく赤とんぼ

島根県 中学 岩崎 惺央

小澤實選 最優秀賞 一 体育の準備体操秋澄めり

山口県 高校 岩本 リカ

小澤實選 優秀賞 一 朝霧に消えゆく山の影淡し

兵庫県 高校 石田 琉偉